

視点(1974)

1つの固有のマーケットの概念(その1)!!

(SC理論編)

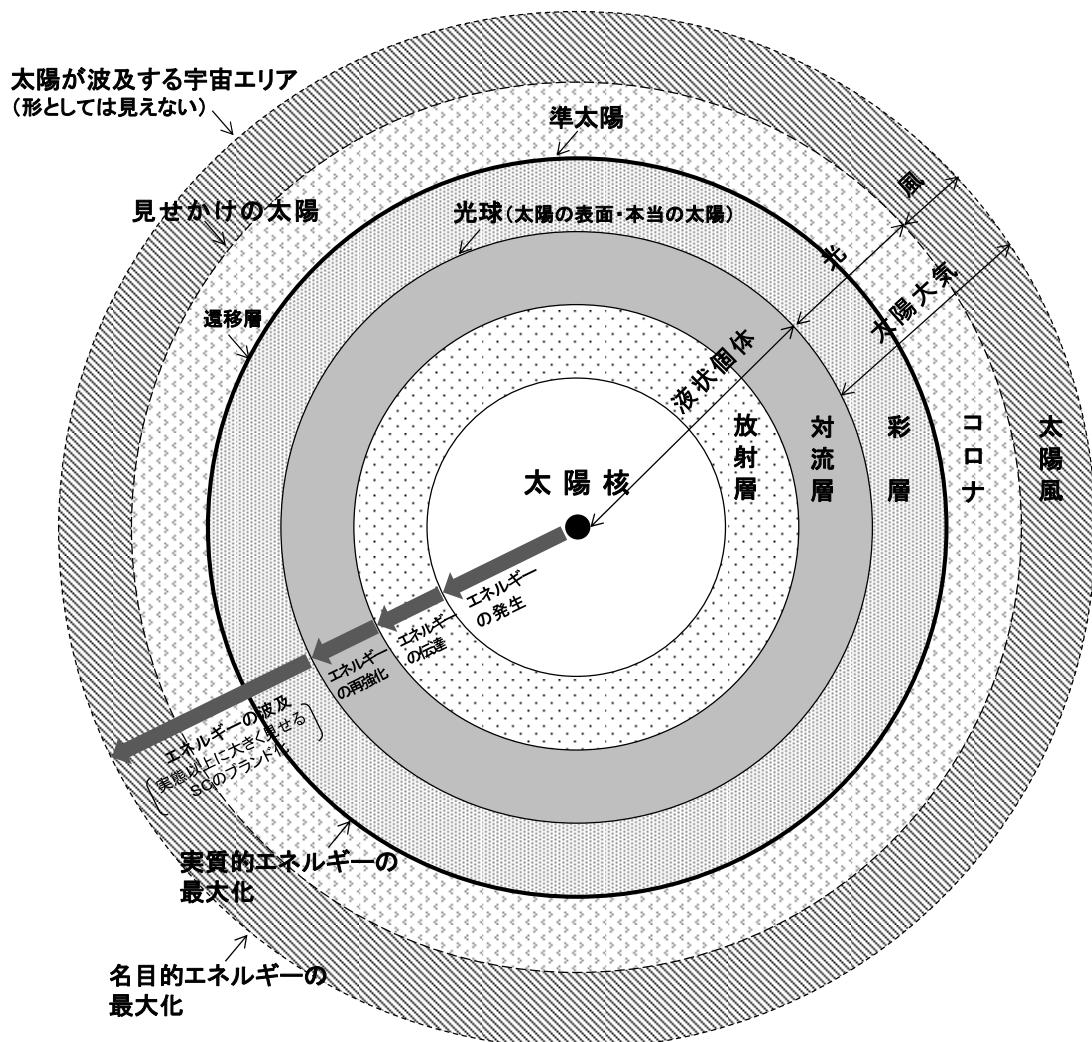
(1) 1つの固有のマーケットの定義

居住者の日常生活行動圏(ここではRSCの外向範囲)で、時間・距離の抵抗要因が希薄なエリアを「1つの固有のマーケット」と言います。この1つの固有のマーケットの範囲内であれば、居住者は「自らのSCの選択基準に基づき、無理をせずにSCを選ぶ」ことが可能です。

この1つの固有のマーケットの「固有」という言葉を付加するのは、各々の1つのマーケットが、居住者のライフスタイルや競争状況等の違いによって、各々の1つのマーケットは異なる性格(特性)を持っているからです。

(2) 1つの固有のマーケットの適用の根源的比喩

強力な「引力」と「光力」で、自らの“星”の独自固有の勢力圏を形成しているのが「恒星(太陽)」です。



この太陽の勢力圏は大きく「実質の太陽」(光球)と「準太陽(見せかけの太陽)」(彩層+コロナ)と「太陽のエネルギーが波及する宇宙エリア」(太陽風)に区分できます。太陽のエネルギー(引力と光力)の影響力や波及力は、SCのマーケット構造の解明に適用できます(普遍の原則)。

(流通とSC・私の視点 1975〜続く)

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六 車 秀 之